くらしの　豆知識

問消費生活センター（☎823-3928）

くらしのレスキューサービスのトラブルにご注意を！

《事例》

自宅の軒先にアシナガバチの巣を見つけたので、インターネットで調べた業者に電話をした。事前の説明では「巣１個で５千円、工事などが必要となった場合でも上限２万円」と言われていたのに、作業後に「他にも２か所、巣があった」と10万円を請求された。取り除いた巣は確認していない。当初説明された料金と違うので納得できない。

《アドバイス》

事前に確認した金額とかけ離れていること、作業の成果（取り除いた巣）を見ていないことを業者に伝え、十分説明を受けて納得してから支払うようにと助言しました。

《ポイント》

- **インターネットやチラシの広告を、よく確認せずにすべて信じてしまうことはやめましょう。**
- **複数の業者から見積もりを取り、業者選びを慎重に行いましょう。**

トラブルに遭ったときや、不安に思ったときはご相談ください。
消費者ホットライン　☎188
消費生活センター　☎823-3928

つちうら防災ノート

問防災危機管理課（☎826-1111　内線2009）

警戒レベルと避難のタイミング

ある程度の予測ができる風水害の場合は、正確な情報の把握と、早急な避難行動の開始が何より重要です。風水害による逃げ遅れを出さないため、災害の危険度の高まりと避難情報をわかりやすい５段階の警戒レベルを使って発信しています。逃げ遅れることがないよう、**警戒レベル４までに必ず避難を終えておくことが重要です。**

また、風水害からの避難は、想定される水害、土砂災害に対応する指定された避難所・避難場所や、安全な場所にある親戚・知人宅への「**立ち退き避難**」が基本となります。事前に避難先を確認し、災害に備えておきましょう。

土浦市ハザードマップ　　市内の避難所情報

５ページの防災クイズのこたえは・・・

×

令和３年５月20日から、警戒レベル４での避難情報は「避難指示」に一本化されました。

警戒レベルと状況		避難情報・避難行動など	情報発信元
5	災害発生または切迫	**緊急安全確保** **命の危険　直ちに安全確保！** ※必ず発令される情報ではありません	市が発令
警戒レベル４までに必ず避難！			
4	災害のおそれ高い	**避難指示** **危険な場所から全員避難**	
3	災害のおそれあり	**高齢者等避難** **危険な場所から高齢者などは避難** 避難に時間がかかる高齢者などとその支援をする方は、危険な場所から避難	
2	気象状況悪化	**大雨注意報・洪水注意報** ハザードマップなどで避難に必要な情報を調べ、避難行動を確認しましょう。	気象庁が発表
1	今後気象状況悪化のおそれあり	**早期注意情報** 防災気象情報などの最新情報に注意して、災害への心構えを高めましょう。	